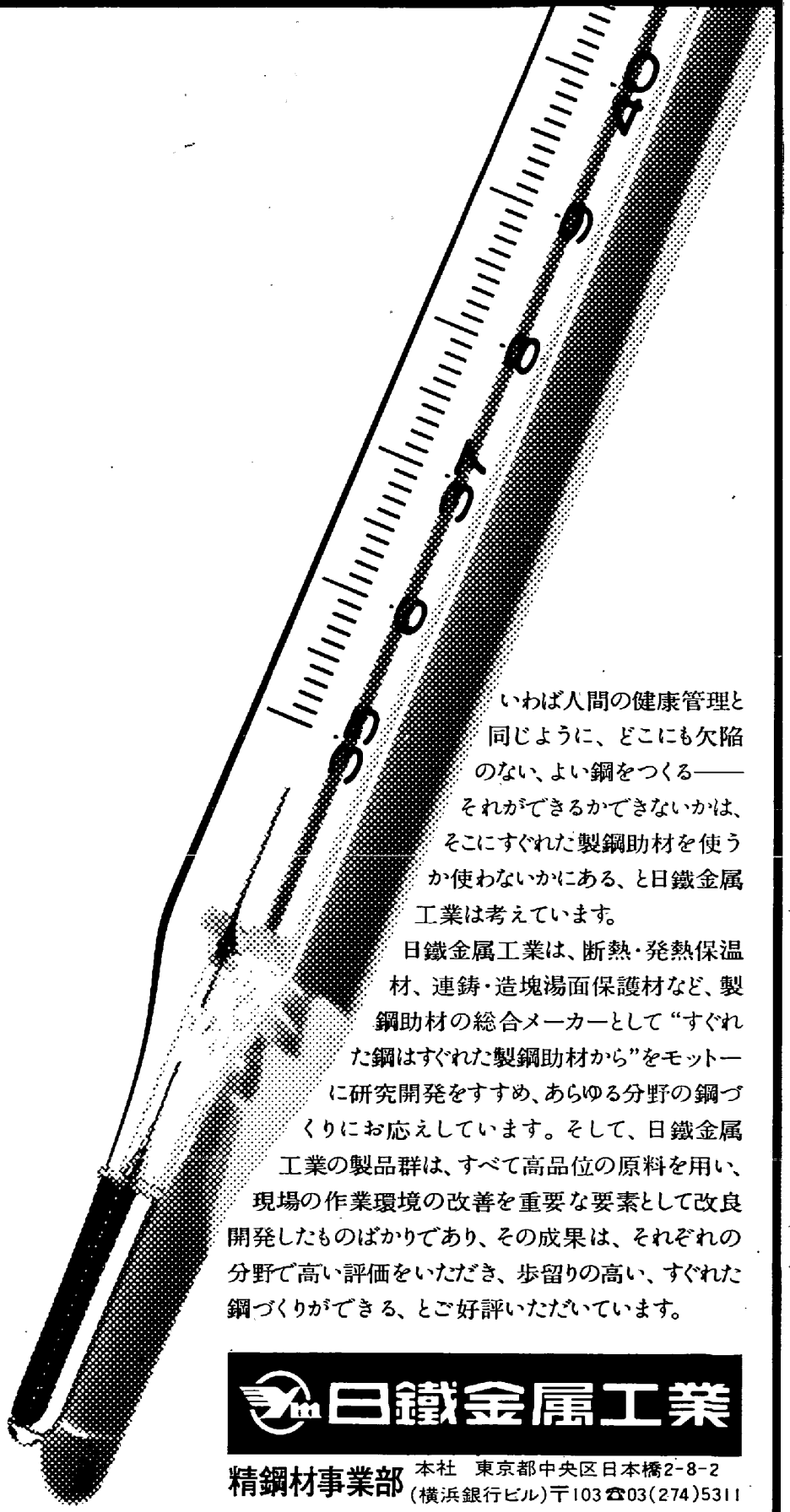


31-3

鋼の健康管理に。



いわば人間の健康管理と同じように、どこにも欠陥のない、よい鋼をつくる——それができるかできないかは、そこにすぐれた製鋼助材を使うか使わないかにある、と日鐵金属工業は考えています。

日鐵金属工業は、断熱・発熱保温材料、連铸・造塊湯面保護材など、製鋼助材の総合メーカーとして“すぐれた鋼はすぐれた製鋼助材から”をモットーに研究開発をすすめ、あらゆる分野の鋼づくりにお応えしています。そして、日鐵金属工業の製品群は、すべて高品位の原料を用い、現場の作業環境の改善を重要な要素として改良開発したものばかりであり、その成果は、それぞれの分野で高い評価をいただき、歩留りの高い、すぐれた鋼づくりができる、とご好評いただいています。



精鋼材事業部 本社 東京都中央区日本橋2-8-2
(横浜銀行ビル) 千103 ☎03(274)5311

昭和五十二年十一月二十五日発行 (毎月一回) 印刷納本 (一日発行) 編集兼発行人 東京都千代田区大手町一九四経団連会館内 倉田 新太郎
昭和五十二年十一月二十五日発行 (毎月一回) 印刷納本 (一日発行) 編集兼発行人 東京都千代田区大手町一九四経団連会館内 倉田 新太郎
東京千代田区大手町一九四経団連会館内 倉田 新太郎
電話 三〇九四 三〇九四 三〇九四 三〇九四
郵便 振替 口座 東京 七一九三番
分譲価格 一五〇〇円
送料 無料